

科目	単位(時間数)	時期	講師名(職名)(時間数)		
※ 助産診断・技術学Ⅱ	1 (30)	1 学期	① 宮口 由美子 (助産師) (15) ② 並崎 直美 (助産師) (15)		
目 標					
分娩期における助産過程の展開に必要な診断と技法、および助産の実践に必要な基本技術を修得できる。					
回	時間	項目	授業内容	授業方法	講師
1	2	分娩の生理	1) 分娩3要素と分娩機転 2) 骨産道 ①骨盤を形成する骨、骨盤の区分 ②骨盤入口の形態 ③骨盤潤部と骨盤開角、仙骨形態 ④骨盤出口部と恥骨弓角 ⑤骨盤の形状と分娩の異常 児頭骨盤不均衡、反屈位、 児頭下降停止 ⑥X線骨盤計測および読影 3) 軟産道 ①子宮下部 ②会陰及び骨盤底筋群 ③産道に関連する血管—子宮動脈—	講義	①宮口 由美子
2	2		4) 娩出力 ①陣痛の測定法、強さの表現法 ②腹圧(怒責、いきみ) 5) 胎児および付属物 ①胎位・胎勢・胎向 ②胎児の産道通過 —児頭の固定・陥入—回旋異常	講義	
3	2		6) 分娩が母体及び胎児に与える影響 ①母体の身体的変化、心理的变化 ②胎児の健康度の評価	講義	
4	1		7) 母体・胎児健康診査の検査 ①妊娠中の臨床検査：妊娠の診断法、 胎児胎盤機能検査、胎児血採取 ②母子感染症 風疹、サイトメガロウイルス 単純ヘルペス 水痘、ATL、GBS、HIV、HCV、HBV	講義	
5	2	分娩期の助産 診断と助産過程の展開 【事例学習】	1) 分娩期の助産診断、診断類型 2) 経過診断 分娩時期、経過の正常・異常の予測 胎児健康度の診断 3) 健康生活診断 基本的ニード、心理的側面、社会的側面、 出産育児行動	講義	②並崎 直美

6	2		4) 分娩期の助産診断 (京野 都さん事例) ①入院時の初期診断 (パラグラフ 1) ・分娩開始徴候、分娩開始の診断、入院判断、分娩経過の予測 ②胎児健康度の診断 ・胎児心拍数図の判読	講義	②並崎 直美
7	2		③分娩第 1 期の診断とケア (パラグラフ 2) ・ケアプランの立案 ・助産診断の評価と修正 (加速期) ・内診のタイミング、破水の診断	講義	
8	2		④分娩第 2～3 期の診断とケア (パラグラフ 3) ・子宮口全開大の近づいた徴候 ・分娩の準備時期 (器材準備、分娩室移動、分娩体位)	講義	
9	2		⑤分娩後 2 時間の診断とケア (パラグラフ 4) ・子宮復古の観察と判断 ・母子早期接触ケアと判断 ・離床開始時期の判断 ・助産録の記載	講義	
10	2	分娩期の正常からの逸脱の診断とケア	分娩期の正常からの逸脱の診断とケア ①前期破水 ②微弱陣痛、回旋異常、陣痛促進	講義	
11	2		③誘発分娩	講義	
12	2		④胎児機能不全 (急速遂娩の必要な波形パターン)	講義	
13	2		⑤産科危機的出血 ⑥硬膜外無痛分娩	講義	
14	2	分娩介助技術の理論	1) 入院～分娩第 1 期ケア ・産痛緩和、体位の工夫 ・基本的ニードの充足、分娩促進ケア 呼吸法、リラクゼーション、栄養 排泄、睡眠 ・家族への支援 2) 分娩直後～2 時間のケア ・バースレビュー ・排尿ケア	講義	②並崎 直美
15	2		3) 分娩介助技術 1 ①分娩介助の基本 (理論) 仰臥位分娩の介助法	講義	
16	1		筆記試験 (45 分)	試験	②

評価方法	筆記試験 100点 (講師① 50点、講師② 50点) 履修規程第5条、第6条に定めるとおりとする。
テキスト	講師①② <ul style="list-style-type: none"> ・助産学講座7 ・助産師基礎教育テキスト5 ・分娩介助学
参考図書等	<ul style="list-style-type: none"> ・マタニティ診断ガイドブック ・産婦人科診療ガイドライン2023 産科編 ・硬膜外無痛分娩
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・事例学習は予習を前提として授業に臨むこと。 ・講師の授業時期は並行あるいは前後することがある。 <p>※この科目は実務経験のある教員による授業科目である</p>